

武蔵野美術大学

かばやま さちかず

樺山 祐和

武蔵野美術大学 学長



長澤忠徳前学長の任期満了に伴い、2023年4月1日付で樺山祐和造形学部油絵学科教授が新学長に就任した。

樺山新学長は1958年福岡県生まれ。1985年武蔵野美術大学大学院修士課程造形研究科美術専攻油絵コース修了後、同大学造形学部油絵学科助手、油絵学科非常勤講師、通信教育課程非常勤講師を経て、2009年造形学部油絵学科教授に就任。2019年より造形学部学部長、大学院造形研究科委員会委員長、学校法人武蔵野美術大学評議員を歴

任。専門は絵画。学長・教授を務めるかたわら、創作活動を続けて毎年展覧会への出品や個展も開催。パリ協定校とのプロジェクトも担当している。

武蔵野美術大学は1929年創立以来、「教養を有する美術家養成」、「真に人間的自由に達するような美術教育」を教育理念とし、優れた美術・デザインを中心とする造形各分野の専門家を養成してきた。学長として2029年の創立100周年へ向け土台を固め、これからの社会において真に価値創造を行うという人材の育成を目指す。